

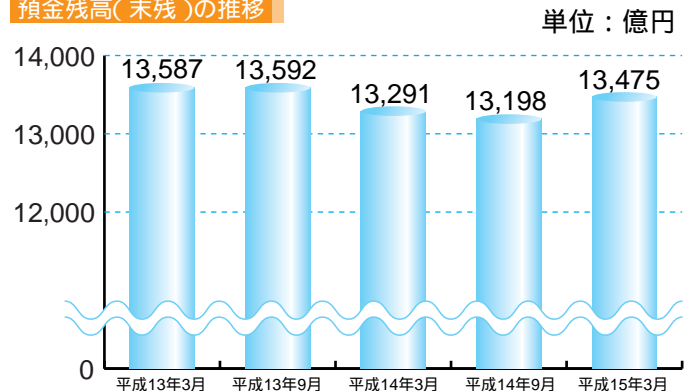
Q1 預金の状況はどうなっていますか

A 預金残高は安定的に増加しています

預金は、流動性預金、定期性預金ともに増加し、銀行勘定の期末残高は期中453億円増加して1兆2,673億円となりました。合同運用指定金銭信託は、低金利の継続などから銀行勘定の預金商品へのシフトが進み、期中269億円減少の801億円となりました。

銀行・信託勘定合計残高では期中183億円増加して1兆3,475億円となりました。部門別では、景気低迷の影響で法人預金は減少しましたが、全体の約7割を占める個人預金は期中183億円の増加となり、預金全体としては安定的に推移しました。

預金残高(末残)の推移



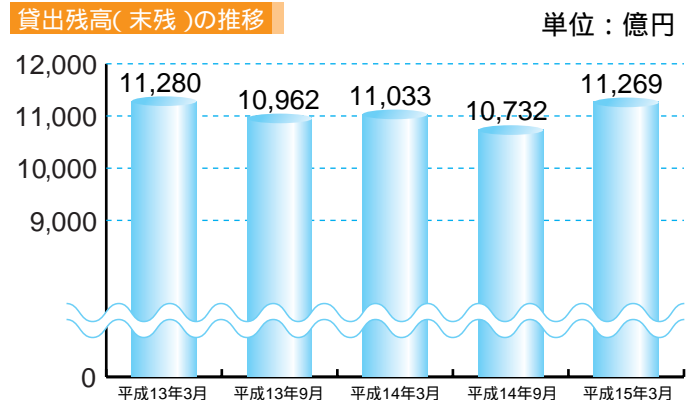
Q2 貸出金の状況はどうなっていますか

A 個人部門は堅調なものの法人部門は低調に推移

貸出金は、景気低迷の長期化により事業性資金の需要は減少しましたが、住宅ローンを中心とする個人部門の増加に加え、沖縄県年金福祉協会から住宅融資債権を244億円譲り受けたことなどから、銀行勘定の期末残高は期中383億円増加し1兆643億円となりました。

信託勘定貸出は期中147億円減少し625億円となりました。銀行・信託勘定合計残高では期中236億円増加し1兆1,269億円となりました。

貸出残高(末残)の推移



Q3 個人ローンの状況はどうなっていますか

A 個人ローンは、引き続き順調に増加

りゅうぎんは、「ローンならりゅうぎん」というブランドイメージの確立を目指して、積極的に個人ローンを推進しています。主力の住宅ローンは「ガン保障特約付き住宅ローン」を平成14年6月から発売したほか、ご融資期間の延長や夫婦連帯債務の取扱開始などにより、期中395億円増加し順調に推移しました。

その他の個人ローンについては、「給振フリーローン」の発売に加え、お客さまが銀行窓口へお越しいただくことなく、郵便でカードローンのお申込・借入手続きがすべて完了する「ポストでローン」を発売するなど、商品の充実に努めました。

個人ローン残高(末残)の推移

